

様式 3

令和 2 年度 第 1 回学校関係者評価報告書

鳥取県立境港総合技術高等学校

校長 田中 宏明

評 価 日		令和 2 年 6 月 3 0 日 (火)			
委 員	氏 名	年齢	性別	資格・所属等	委員長
	阿部 泰典	6 7	男	余子公民館長	
	山本 淳一	5 8	男	境港市立第二中学校長	
	中村 将人	5 6	男	境港市立余子小学校教頭	
	鰐岡 真奈美	5 0	女	社会福祉法人境港保育会あまりこ保育園長	
	福井 真奈美	5 3	女	前 P T A 会長	
	近廻 典子	4 8	女	共和水産株式会社海務部課長	
	石倉 俊一	4 8	男	境港市産業部水産商工課長	
	山根 宏典	5 5	男	株式会社ヤマネ産機代表取締役社長	
	斉木 健之	6 1	男	有限会社斉木電気設備代表取締役	
	荒井 祐二	6 9	男	さかい幸朋苑総合施設長	
	安藤 順一	6 4	男	元校長	
評 価 ・ 提 言				学校の所見・改善策等	
1. 前年度の最終評価について（新型コロナウイルス感染症感染防止のため第 1 回学校運営協議会は書面審査とする） ・前年度の評価は概ね適切である。 ・地域と連携した避難訓練について、最終報告の方法及び災害時の生徒の帰宅方法について、資料ではわかりづらかった。 ・地域に密着した学校の取組、ボランティア活動等生徒は一生懸命取り組んでいる。 ・学校の教育目標が達成できるよう、課題解決に向けて取り組んで欲しい。 2. 前年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・「総合技術フェア」などの取組で、学科間の連携がうまくとれており、学校の一体化がなされている。 ・各科が特色のある事業を行うことにより、生徒が自分の科に誇りと自信、役立ち感、有用感をもち、専門性を深めている。 3. 今年度の評価計画について (1) 目標設定について ・さまざまな取組を通して、生徒の経験値を上げ、コミュニケーションがとれる人材を育成して欲しい。 (2) 目標達成のための取組について ・地域基幹産業の発展に寄与できる人材育成に期待している。 ・コロナ禍でインターンシップができるかどうか心配だが、できる				1 基本的な生活習慣をしつかり身につけながら、学力向上、キャリア教育の推進、地域との連携を図り、専門人材育成に向けた取組の充実を図りたい。 2 科連携や地域との連携を充実させ、自信を持って地域に貢献できる人材の育成を図るとともに、取組を積極的に P R し、本校の活動を広く県民に周知したい。 3 ・さまざまな取組を通して、生徒の自尊感情の醸成や人間性の育成を図るとともに、コロナ禍ではあるが、事業の代替等、生徒の経験値が上がるような取組を検討していきたい。 ・学科間連携、学校間連携、地域連携などを通して、社	

だけ生徒の経験値が上がるような方法や対策を検討してほしい。 (3) 評価基準及び評価指標について ・自己評価の評価指標は適切である。 4. 学校運営や予算に関する提言 ・とても多くの事業が計画されているが、コロナ禍で相手先や感染予防対策で制限が加わったり、中止になることもあると思うが、できるだけ生徒の経験値が下がらないように、生徒の育成につながる学校運営を行って欲しい。	会人として必要な総合的なコミュニケーション力を身につけさせたい。 4 コロナ禍ではあるが、事業の代替を検討し、予算の効果的な執行に努め、生徒の主体的な活動を進め、学校の活性化を図りたい。
---	---

年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立〇〇〇〇学校
校長 〇 〇 〇 〇

評 価 日	年 月 日 ()
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況	
(2) 説明・公表について	
2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について	
3. 取組改善のための提言	